

2 0 2 4 年 度 事 業 報 告 書

特定非営利活動法人 I M A G I N U S

1 事業の成果

人材育成事業では、異文化の中で課題解決に取り組む学びとして大学生がフィリピンの現地の人にオンラインでインタビューする機会を提供した。また、広島にて、子どもの自然体験やアート、里山整備をするイベントを高原財団の助成金によって実施することができた。

国際協力事業では、インドの児童保護事業（ジャグリティ）を学生団体 Smiles Production と共同で運営し継続することができた。また、みんなの学校（SAC）プロジェクトでは、現地 NGO と提携して3校の運営を継続した。そして、フィリピン・ネグロス島での5年目の奨学金プログラムでは、ネグロス電工さまの寄付により11名の山間部の子どもたちとその家族へ支援を行った。また2024年3月に開所した現地中高生対象の寄宿舎には、4名が入寮した。さらに、カカオによる所得向上プロジェクト・チョコレート開発を開始した。本事業に、日本の学生をインターンシップとして受け入れた。

ボランティア活動事業では、2024年1月能登半島地震および2024年9月能登半島豪雨被害を受け、学生ボランティア派遣を行った。また、助成金により継続的に活動の幅を広げることができた。現地活動後、広島にて報告会や各種イベントでのチャリティー実施、地元防災組織のセミナー参加など、新たな現地協力団体および県内学生団体と活動することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 人数	事業費の 金額 (単位：千 円)
人材育成事業	<u>学びの場作り</u> ネグロス島での課題解決型オンラインプログラムを受託した。大学生にフィリピン文化と社会課題を知る機会の提供を行った。	9月	オンライ ン/ フィリ ピン	2名	30名	<u>501</u>
	<u>絵本の森 子どもの自然体験</u> きんぎょ荘周辺の里山・水田整備、子育て世代が自然の中でアートや料理、自然観察をする機会を提供した（イベント6回）	通年	広島	2名	100名	
国際協力事業	<u>寄宿舎建設事業</u> 2024年3月に完成し、4名の現地中高生が寄宿舎に入寮した。	通年	フィリ ピン	2名	4名の入寮生と その家族	<u>6,232</u>
	<u>奨学金プログラム</u> フィリピンネグロス島における奨学金プログラムは5年目。11世帯の子どもへ支援を行い、放課後学習サポートも行った（現地インターン生受入）。	通年	フィリ ピン	現地ス タッフ 2名 日本 人 ス タ ッフ 1名	11名の奨学生 とその家族	

	<p><u>カカオによる所得向上プロジェクト・チョコレート開発</u> 5月より1haのカカオ農園を借り農園運営開始。自治体と連携して農家への栽培・加工技術の移転を行った。収益事業としてクラフトチョコレートの開発・製造を開始した。また、全国から学生・社会人インターンを受け入れた。 (バングラディッシュ人1名)</p>		フィリピン	現地スタッフ3名 日本人スタッフ1名	農家10戸、農業局職員2名 インターン8名	
	<p><u>児童保護事業</u> インド西ベンガル州ニュージャールパイグリ駅周辺の女兒を保護するためのシェルターの運営。10年目の節目を迎えた。</p>	通年	インド	現地スタッフ2名 日本人スタッフ2名	施設利用者数 延べ150名	
	<p><u>インドみんなの学校(SAC)</u> NCLP スクール3校を運営。3年目日本の学生のコミットメントが増えた。</p>	4月～	インド	現地スタッフ2名 日本人スタッフ1名	160人の子どもと教師8名	
	<p><u>研究活動</u> インドの地域研究を実施。</p>		インド	日本人スタッフ1名、研究者2名		
ボランティア活動事業	<p><u>災害時ボランティア活動</u> 令和6年1月能登半島地震、9月豪雨災害の被災地へ学生ボランティアを派遣。広島県内8大学の学生が参加。過去の災害での協力団体と再度連携し、安全に派遣引率を実施した。現地では、スポーツや製作・食を通して交流する場をつくり、被災地の方々と学生だけでなく、地元の方々同士が対話しつながるきっかけとなった。</p>	5月 8月 10月 11月 2月	国内(石川) 七尾市 珠洲市 輪島市 穴水町 *派遣回によって活動地は異なる	4名 6名 1名 1名 4名	学生10名 被災者約40名 学生19名 被災者約265名 学生2名 被災者約20名 被災者約10名 学生10名 被災者約50名	4,929
	<p><u>防災啓発活動</u> 能登半島地震ボランティア活動報告会の開催(計3回)。広島県ボランティア交流サミットの分科会を担当。東広島学生ボランティア研修・交流会に参加。地域のお祭りや防災イベントなどで、能登半島物産を紹介。</p>	6月 7月 10月 1月 3月	国内(広島)	4名	報告会参加者約70名 交流サミット参加者11名 イベント参加者多数	

	防災プラットフォームへの参画 内閣府のモデル事業である広島市東区早稲田学区での防災プラットフォームへ参画。	年4回	国内（広島）	1名	行政職員や自治会役員等 20名	
上記事業に関連した情報提供	団体ホームページの運営	通年	ネット上	2名	ホームページ	上記事業費内に含まれる
その他の事業	実施なし	—	—	—	—	0

以上